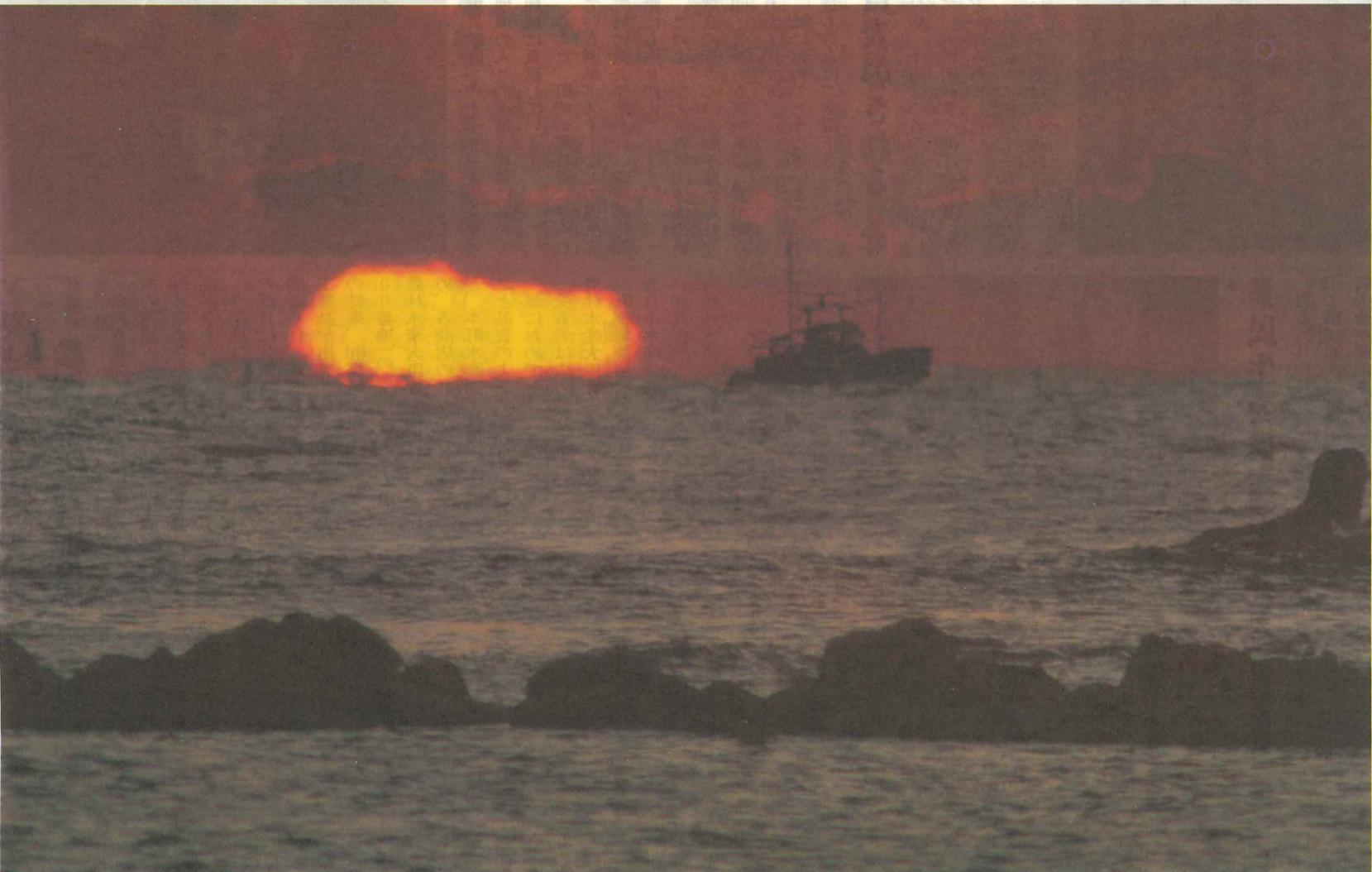


謹賀新年



新年のごあいさつ



大洗町長 竹内 宏

町民の皆様、新年明けましておめでとございませう。輝かしい平成4年の新春を健やかに迎えられたお喜びと皆様方にとつて最良の年でありませう心からお祈り申し上げます。併せて、日頃町政につきましてもの深いご理解とご協力に対しまして厚く御礼申し上げます。顧みますと昨年度は、町の長期ビジョンである第3次大洗町総合計画を策定し、初年次を力強くスタートした意義ある年でございませう。

下水道事業を始め町民の生活に直結した道路、排水路、上水道、街路事業など都市基盤整備を推進し、また、総合運動公園野球場のオープン、そして、特別養護老人ホーム「ひぬま苑」建設の支援など、教育や社会福祉の一層の充実を図る事ができました。

さて、迎える新年でございますが、大洗・旭・常澄の3町村で建設を進めていました、近代的ごみ処理施設が完成し1月から稼働し増加するごみ処理の解消を図り、更に7月にはフルーディング需要や海洋性レクリエーション需要に対応した公共マリナーナがオープンする予定であります。マリナーナを核として、夏期の一季型から通年集客性のある施設整備を図るため、町民の皆様のご理解を得ながら推進して行きたいと考えております。

21世紀の夢多き未来に向かって、町民の皆様と共に町民憲章を實踐し、優れた自然環境と恵まれた社会的条件を活用し町民と行政が一体になって、住んでよいまち、住みたくなるまちをつくることであり、「潤いとやすらぎのマリンシティー大洗」づくりのための各種の事業に、精一杯邁進したいと思っております。

町民の皆様には旧に倍し、一層のご指導とご協力をお願い申し上げますと共に、皆様のご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶いたします。

今年申年

平成

四年は申年です。サルは、桃太郎やサルカニ合戦にも登場する、おなじみの動物です。

ひとくちにサルといっても、体重や種類など、実にさまざまです。ゴリラなどは大きいものでは、体重約二百キロ以上もあります。一方、マダガスカルに生息するミミゲコビトキツネサルは、体重四十五グラムほどです。また、大きなシツポをもち、木の上で生活する原猿(下等霊長類)のなかには、一見リスに似たものもいます。そのほか、オラウータンやチンパンジーなどのように、ヒトニサル(人似猿)といわれる、高等霊長類もいます。

日本

に生息しているのは、ニホンサルです。顔とおしりの赤い、おなじみのサルです。ニホンサルの南限は鹿児島県の屋久島、北限は青森県の北端の下北半島です。沖縄と北海道にはいません。

ニホンサルは、昔から日本人に親しまれてきました。昔話はもちろんですが、古事記や日本書紀にも登場し、道案内をするサルタヒコノカミは、



の土堀12面に描かれた仏画の大半が焼失しました。これを機に、翌年(昭和25年)に「文化財保護法」が制定されるとともに、「文化財防火デー」が定められ、全国各地で文化財の防火演習などの緒行事が行われるようになりました。

文化財防火デー (1月26日)

わたしたちの財産を 火災から守ろう

1月26日は、「文化財防火デー」です。昭和24年のこの日、法隆寺金堂から出火し、世界的な至宝といわれた、金堂外壁

火災や震災などの災害から文化財を守るために、文化財の所有者や管理者の方はもちろん、文化財の周辺に住んでいる方も、火の元には十分気を付けましょう。

サルであるともいわれ、いまでは道祖神としてまつられています。ことわざにも、サルにまつわるものいろいろあります。だれでも知っているのは、「サルも木から落ちる」でしょう。これは、サルを木登りのベテランとしているわけですが、一方、「サルまね」「サル知恵」などになると、サルは笑いも扱われています。

ところで

最近、野ニホンサルを見る機会が多くなりました。観光用に餌づけしたサルが人前に現れたり、開発で山のエサがなくなったために里に出て、ドライバーにエサをねだったりということが、多くなってきているようです。サルを間近に見られるのは楽しいのですが、やはり野生動物と人間は、適当な距離を置いて共存するのが自然ではないでしょうか。サル年を機に、こんなことも考えてみませんか。

平成3年度茨城県ばら賞 大洗青年団体連絡協議会 が受賞



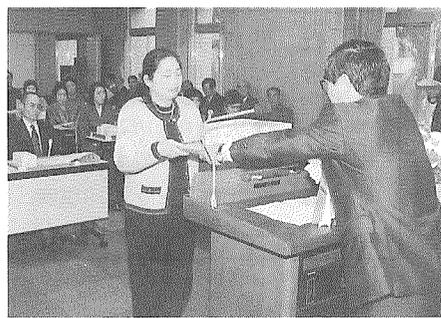
去る12月6日ホテルリゾート大洗で平成3年度茨城県ばら賞ほう賞式が行われ、大洗青年団体連絡協議会の木村政義会長に県知事ほう状が贈られました。

野外映画、バーベキュー等を行い地域の人の連帯と親善に努めて地域に貢献しています。さらに、町内の電柱等に貼られている選挙ポスターなどの違反広告物の撤去作業を行い環境美化運動にも取り組んでいます。

永年勤続従業員表彰される

去る11月28日、大洗町商工会館研修室で大洗町商工会(松山栄次郎会長)に加入している事業所の平成3年度永年勤続優良従業員表彰式が行われました。

この表彰の該当者は、勤続3年以上で、事業所及び地域産業の発展に寄与された方が対象となつて



- (勤続35年)
 - 茨城県商工労働部長賞
 - 高野 文次郎 磯菊商店
 - 小林 幸子 茨交大洗ホテル
- (勤続30年)
 - 水戸公共職業安定所長
 - 石川 常雄 ヤマハチ水産
- (勤続25年)
 - 大洗町長賞
 - 坂本 かよ子 古川酒造店
 - 林 トミ子 山戸呉服店
 - 絹針 キヨ 大洗給食協賛組合

※尚20年以下の皆さんは紙面の都合上割愛させていただきますのでご了承ください。

茨城県水産製品品評会で

農林水産大臣賞他各賞を受賞

県内水産加工業者の技術改善意欲の増進と水産製品の品質向上を図るため茨城県では毎年水産製品品評会を行っております。

今年度は、去る11月5日・6日の両日に茨城県民文化センターで開催され、県内各地より68点の加工製品が出品され、厳正なる審査の結果、(旬)尾尾水産(磯浜町780番地)の「ホッケみりん漬」が農林水産大臣賞を獲得したのを初め、各商店の品々が各賞に輝くなど、本町水産加工技術の水準の高さと品質のよさが認められました。

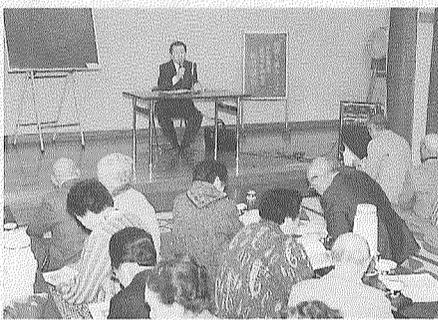
- 農林水産大臣賞(ホッケみりん漬)
 - (旬)尾尾商店 尾尾 勝吉
 - 大日本水産会長賞(シシャモ)
 - (旬)丸正商店 大川 皖市
 - 県農林水産部長賞(白魚)



高年者大学で

税金の学習会

去る11月25日、老人憩いの家で町高年者大学が開かれました。高年者大学は毎回いろいろな事を学んでおり、今回は「相続税と贈与税について」をテーマに水戸税務署飯島総括国税調査官より説明を受けました。



民生委員表彰される

去る11月13日、県民文化センターで第10回茨城県民生委員児童委員大会が開催されました。この席上で町の民生委員児童委員さん4名が茨城県民生委員児童委員協議会会長より永年勤続委員として表彰されました。

いつもおしごと ごろうさまです!

恵泉保育園の 園児の 訪問

勤労感謝の日にさきかけて、去る11月19日、かわいい園児6名が役場を訪れました。

これは、感謝といたわりをモチーフに恵泉保育園(重実静枝園長)が勤労感謝の日因んで、年長組の園児をグループに分け、町内の各事業所60数箇所を訪問しているもので、この行事は今年で13回目とのことです。



かわいい園児たちが、声を揃えて「いつもおしごとごろうさまです!」とリボンを付けた、シクラメンとテンマークカクタス鉢植の花を職員に手渡し、感謝の気持ちを表していました。

ふれあいゲートボールを開催

去る11月25日、ひじり保育園で、高年者クラブ永寿会(篠原耕造会長)と園児による「ふれあいゲートボール」が行われました。

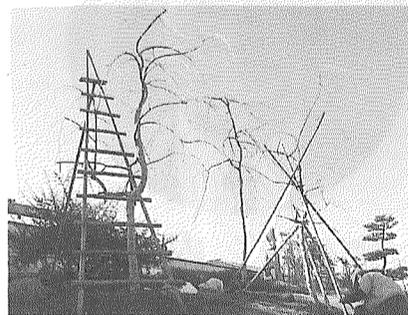


これは、三世代ふれあい事業の一環としてゲートボールを通して高齢者と子供達のふれあいを行うものです。

園児は初めてステックを握り戸惑っていましたが、高年者クラブのおじいさんやおばあさんから指導を受け、一緒にゲートを通して喜ぶことができました。

環境美化にさくらの木を植栽

大洗ライオンズクラブ(田山晃会長)では、去る11月25日文化センター前の芝生広場に「しだれ桜」の木、3本を植えて町に寄付されました。



これは、文化センター周辺の環境を美化し、やすらぎのある広場にしようとしたものです。

税だより

記帳に基づく正しい申告を

商売などをしていての方が、自分の所得を正確に計算するためには、毎日の取引をきちんと記帳しておくことが必要です。

青色申告で

正しい記帳を
現金出納帳など、定められた一定水準以上の記帳をし、その記帳に基づいて正しい申告をする場合には、所得の計算上有利な取り扱いを受けられる青色申告の制度が設けられています。

青色申告をすることが出来る方は、事業所得や不動産所得及び山林所得のある方です。

年末調整後に扶養親族の異動があったり、生命保険料等の控除もれがあった場合には、翌年一月中に再調整ができますので、勤務先に申し出てください。

詳しくは、水戸税務署・税務相談室へお尋ねください。

年未調整後に異動があった場合は再調整を

20歳になられたら

国民年金の加入手続きを

新たに成人の仲間入りをされた皆さん、おめでとうございます。ところで、わが国では、20歳から60歳までの国民は、すべて公的年金制度に加入することになっていきます。

学生のみなさん

国民年金の加入手続きを

国民年金の加入手続きを

国民年金の加入手続きを

国民年金の加入手続きを

国民年金の加入手続きを

国民年金の加入手続きを

国民年金の加入手続きを

国民年金の加入手続きを

高年者年忘れ演芸大会

歌や踊りを披露



高年者年忘れ演芸大会が、去る12月3日文化センター大ホールで盛大に開催されました。

これは、大洗ロータリークラブ（久保田肇会長）が高年者ゲートボール大会を開催していますが、ゲートボールに参加出来ない会員の皆さんのため企画したものです。

開会式後、演芸会に入り会員の稲川弘さんと鈴木孝三郎さんの司会進行で、若さあふれる踊りや張りのある声を会場の皆さんに披露され、大きな拍手と歓声を受けていました。

また、特別出演として参加した町立第一・第二保育所の園児によるかわいい遊戯で雰囲気がいよさらぎました。

秋季消防訓練を行う

去る11月19日、消防団恒例の秋季消防訓練が大洗港埠頭で行われ



この訓練は、火災防衛における使命達成のため、迅速、確実なる消防活動ができるよう十分な知識と技術を修得する目的に毎年行われているものです。

午前10時消防団員が整列、谷田部団長挨拶のあと、団員の昇格辞令交付、引き続き特殊ポンプ操作説明を受け、実施訓練での放水作業に団員一同が真剣に取り組んでいました。

これからの季節は、火を使う機会が多くなります、みなさん十分気をつけましょう。

3位 水戸黄門(踊り) 大場 実(永寿会)

祝船(歌) 立原和子(長寿会)

雪の浜町河岸(踊り) 米川隆治(明寿会)

嫁ぐ日よ(歌) 松山みつ(長寿会)

大孟(踊り) 小松崎元子(ときわ会)

お気の毒 音無川(歌) (敬称略)

最新鋭の消防車が配備

去る11月16日、消防署に最新鋭の消防車が配備されました。



この車は、従来使用していたJ1型型消防車(昭和52年7月購入)の老朽化に伴い更新されたもので

新しい車両(CD-I型)は、イヌズ車(エルフトン)をベースに特殊機装し、6人乗りのダブルキヤビン型で400ccのディーゼルエンジンを使用した最新型の消防車です。1.5KWの発電機を使用した50Wの照明灯2基を搭載し、ポンプはコンピュータによる自動制御ポンプなど、消防器材が数多く積載できるよう工夫されております。

今後の消防活動に、十分威力を発揮するものでしょう。

○事業費 一、二、五七〇千円

町内を走る

三浜駅伝大会開催される

去る12月1日、恒例の三浜駅伝競争大会が行われました。

今回で46回目を数える歴史と伝統ある大会に中学・高校・一般合わせて16チームが参加しました。

当日は、天気に恵まれ選手の皆様は今年から変更された町内コース(大貫町内)潮来屋大貫中

会も無事終了しました。

ありがとうございました。



☆大洗の選手が大活躍☆

第7回

水郷潮来マラソン大会

「走れ！君のゴールは水の里」をキャッチフレーズに、去る11月24日「第7回水郷潮来マラソン大会」が深まり行く秋空のもと盛大に開催されました。

今年で7回を迎える大会に、本町より多勢の選手が参加しました。なかでも、中学女子の部(5km)に出場した、田口智賀子さん(南中)が19分09秒で見事に優勝、3位に小橋奈津子さん(南中)7位に清宮寿恵さん(南中)が入賞、男子の部(5km)では、秋山真己君(南中)が17分12秒で3位に入賞しました。

皆さんこれからも益々がんばって下さい。

大洗の歴史展を 開催する

常陽銀行大洗支店

常陽銀行大洗支店で、「大洗の歴史展」が11月18日から12月20日まで開かれました。

これは、大洗支店が明治44年常磐銀行湊支店磯浜出張所として開設してから、今年で80周年を迎え、町の歴史を年表で作成し、合わせて写真を展示したものです。

来店された人々は、昔の学校の写真や海岸の姿に思わず足を止め懐かしんでおりました。

また、記念事業として作った「山村暮鳥」のビデオテープを各小中学校の教材として寄付されました。



おおあらい

俳壇

後藤亀泉選

虎河豚を糺る声といふ高かりし

〔評〕 魚市場の冬空に高々とせり

豚を糺していると言う。久々に揚がった虎河豚なので、声にも一段と力が入るのであろう。

〔評〕 お百姓同士、にこにこ談笑している。稲刈を無事に済ませた安堵感から自然と湧き上がる笑顔なのである。

新町 岸和田和子

〔評〕 年の市に売り出す注連縄作りをしている。注連には、輪注連、棒注連、ごぼう注連など種々あるようであるが、子孫繁栄を願って飾るゆづり葉も、正月の神棚には欠かせぬもの。その樫の今年の出来具合など語り合いつつ注連を編んでいるのである。

新町 岸和田和子

〔評〕 デパートに飾られたツリであろうか。子供達二人、ツリに縋められた銀の星に手を触れようと背伸びし合っているのだ。電飾に煌くクリスマスツリーの前の背くらべ。

大貫 田山佳男

〔評〕 忘年会の酒席であろう。宴席を抜け出してきし炬燵かな喋り疲れ、呑み疲れていささか持て余し気味の吾が身を、別室の炬燵に運んで休めて居るのである。

角一 前原青嵐

〔評〕 秋晴に澄み切った浜辺の午後、雁の群が鮮やかな隊列を組んで高空を翔んでいる。冬近い日本へ今年も雁がやって来たのだ。折から渚では、沖から戻ってきた舟人が、帰り仕度をしながら渡雁の棹を見上げている。

冬の日深く入りたる理髪店

〔評〕 小春の日差しが戸口の硝子を透して、理髪店のフロアに深く差し込んでいる。暖房も、もう要らないくらいだ。客の顔の蒸しタオルからも湯気が立ち昇って、何とも暖かい句柄になっている。

新町 加藤宗一

〔評〕 黄金色に輝く大銀杏が、冬空に落葉を急いでいる。ときに吹き、ときにしずむ風の動

枯葉舞ひ心の中の枯葉散る

〔評〕 磯浜 浅見道子

雲切れてよりの息吹や初御空

永町 桜井政吉



